②

旧字、旧カナ

太宰君の思ひ出

三行中央

青柳瑞穂

三行中央

追込

□私が初めて太宰君に會つたのは何年前のことだつたらうか。手もとに~~年表~~年譜がないのでしかと知るよしもないが、井伏君が私の家につれて來たことだけは確實である。

□尤も、それが太宰君だとも津島君だとも知つたわけではなく、ただ井伏君がつれて來た文學青年くらゐにしか思はれなかつた。井伏君はさういふ無名の青年をちよいちよい私の家につれて來た。井伏君は文學青年の訪問をうけ、それが長すぎたりすると、退屈し、散歩と稱して外に出て、私の家に立ち寄るといふやうなことになるのではないかと私は見てゐた。井伏君はさういふ青年の名前を告げて、改めて私に紹介するといふやうな行爲に出ることは滅多になかつた。だから、おそらく太宰君とも、津島君とも云つて紹介しなかつたに違ひない。

17